

日本分析化学会九州支部 2021 年度 第 2 回常任幹事会

日時:令和 4 年 2 月 19 日(土) 13 時 00 分～14 時 20 分

場所:Zoom によるオンライン会議

出席者(敬称略・順不同):井原敏博(支部長/代議員)、富安卓滋(次期支部長)、田中 充(副支部長)、黒田直敬(監査/分析化学講習会実行委員長)、谷口 功(参与)、中村 博(参与)、田端正明(参与)、石川洋哉(常任幹事)、稲田 幹(常任幹事)、大島達也(常任幹事)、大庭義史(常任幹事)、川上健次(常任幹事)、栗崎 敏(常任幹事)、高橋幸奈(常任幹事)、西田正志(常任幹事)、松田直樹(常任幹事)、松森信明(常任幹事/代議員)、吉留俊史(常任幹事)、井倉則之(幹事/ぶんせき編集委員)、末田慎二(幹事/Anal.Sci.編集委員)、森 健(幹事/分析化学編集委員)、大平慎一(幹事/次期副支部長)、赤瀬信一郎(次期副支部長)、神崎 亮(幹事/次期庶務幹事)、児玉谷 仁(幹事/次期会計幹事)、北村裕介(会計幹事)、水城圭司(庶務幹事)

議題(担当者)

1 報告事項

1) 九州支部事業(水城庶務幹事)

水城庶務幹事より九州支部事業について、第 34 回九州分析化学若手研究講演会および第 39 回九州分析化学 若手の会夏季セミナーの事業完了報告書、第 58 回化学関連支部合同九州大会のオンライン開催、ならびに第 61 回 分析化学講習会の中止について資料にもとづいて説明がなされた。

2) 支部関連会議(水城庶務幹事)

水城庶務幹事より資料に基づいて、2021 年度は九州分析化学会賞・奨励賞選考委員会、第 1 回常任幹事会、学会賞等候補者推薦委員会、幹事会、第 2 回常任幹事会の計 5 回の会議が開催されたことが報告された。本年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、選考委員会および第 1 回および第 2 回常任幹事会はオンラインで開催されたことが説明された。

3) 支部講演会・見学会(水城庶務幹事)

水城庶務幹事より本年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、産学連携講演会・見学会を中止し、支部講演会を 1 日のみ行った。受賞講演会では 2020 年度受賞の高椋先生、2021 年度受賞の能田先生にご講演いただいたとの説明がなされた。

4) 理事会(黒田本部理事)

黒田理事より、第5回理事会の資料に基もとづいて今年度の予算状況等、年会の会計報告、次回の討論会の準備状況、「分析化学」誌の編集委員におけるアドバイザーの設置について、説明が行われた。来週第6回理事会が開催される予定である。

5) 2021 年度支部会計報告(北村会計幹事)

北村会計幹事より資料に基づいて、2月19日時点での会計報告がなされた。

6) 各誌編集委員会

Analytical Sciences (末田編集委員)

末田編集委員より、出版業務が今年1月から Springer Nature 社に委託されたことにより、前回報告された第3回編集委員会からまだ編集委員会が開催されていないとの報告があった(正確には編集委員会を開催する余力がないため)。

ぶんせき(井倉編集委員)

井倉編集委員から、印刷所が「分析化学」と同じ会社に変更されたこと、Web 投稿システムも「分析化学」と同じになったことにより、執筆要領が変更されることについて報告があった。

分析化学(森編集委員)

特に議案は無し。

7) その他 (水城庶務幹事)

水城庶務幹事より日本分析化学会九州支部共催事業の延期に関する報告がなされた。

2 審議事項

1) 2022 年度支部・本部関係役員(水城庶務幹事)

水城庶務幹事より 2022 年度本部・支部役員について、前回の幹事会およびそれ以降に報告や選出の依頼がなされた支部役員について案が示され、了承された。

2) 支部役員の変更(水城庶務幹事)

水城庶務幹事より 2022 年度開始以後の変更について一覧が示された。第2回常任幹事会では3名の幹事退任が承認された。

3) 2022 年度支部予算(北村会計幹事)

北村会計幹事より 2022 年度の予算案について資料に基づいて、収入・支出の各科目の説明がなされ、了承された。

4) 2022 年度支部事業計画(水城庶務幹事)

水城庶務幹事より研究発表会、講演会等、講習会およびその他の事業について概要の説明がなされ、了承された。

さらに今年度の機器分析ワークショップ中止、来年度についてコロナ終息を前提に 10 月中旬に鹿児島大学の富安支部長 & 神崎庶務幹事の両先生のもとで、開催予定との説明がなされた。

5) 第 59 回化学関連支部合同九州大会(水城庶務幹事)

水城庶務幹事より資料に基づいて、2022 年度は 7 月 2 日(土)に北九州国際会議場で開催され、発表申込期間は 3 月 1 日(月)~4 月 8 日(金)であること、依頼講演は大平 慎一先生(熊本大学) をお願いしていることの説明がなされ、承認された。

6) 九州分析化学若手の会第 35 回研究講演会および第 40 回夏季セミナー(宗世話人、野間世話人)

両世話人欠席のため、水城庶務幹事からから、提出された資料に基づいて開催の概要が説明され、承認された。予算案はないが、2021 年度同様になる見込みである。

7) 2022 年度分析化学講習会(井原次期実行委員長)

井原次期実行委員長より来年度の分析化学講習会事務局は、本年度の九州支部事務局が担当することが井原支部長より報告され、承認された。また、既に第 1 回実行委員会(事務局引き継ぎ)が 2022 年 1 月 25 日(火)にオンラインで開催されたことが報告された。さらに、新型コロナウイルス感染症による予想される影響について議論がなされ、開催は難しいのではないかという意見が出された。

例年どおり実行委員会を組織し、その中で開催の可否に関して議論の上、3月を目処に判断する旨の確認が行われた。

8) その他

井原支部長より九州分析化学会賞・奨励賞について説明と推薦依頼がなされた。続いて次年度の役員名簿が示され、確認依頼がなされた

北村会計幹事より、分析九支部クラウドについてご説明があり、議論がなされた。

以上